

北海道医療大学歯学部歯学科に対する評価結果

I 判定

評価の結果、北海道医療大学歯学部歯学科（学士課程）は、本協会の歯学教育に関する基準に適合していると認定する。

認定の期間は2024年4月1日から2031年3月31日までとする。

II 総評

北海道医療大学歯学部歯学科は、大学全体の建学の理念である「知育・徳育・体育三位一体による医療人としての全人格の完成」に基づき、教育理念を「歯科保健、歯科医療と福祉の連携・統合をはかる教育を推進し、人々のライフステージに応じた口腔の健康を守る医療人の養成をもって、地域社会ならびに国際社会に貢献し人類の幸福に寄与する」と定め、「豊かな人間性と職業倫理を備え、人々の健康の維持・増進に寄与するとともに、地域的および国際的視野から歯科医学の発展および歯科医療の向上に貢献できる歯科医師の養成」を教育目的として歯科医師の養成に努めている。

この目的を達成すべく、1年次では基礎的知識及びコミュニケーション能力を育成する教育、2年次では歯科基礎医学教育と医療面接に関する教育、3～4年次では歯科基礎医学教育に加え、臨床系科目及び臨床シミュレーション教育、5～6年次では医療安全教育と診療参加型臨床実習を実施するとともに、それまでに修得した基本的知識、技術及び態度について体系的・総合的に整理する教育を行っている。なかでも、医療系他学部との連携による「多職種連携入門」「看護福祉概論」「医薬品の科学」「リハビリテーション科学概論」「医療行動科学」「多職種連携地域包括ケア実践演習」「介護福祉施設実習」「訪問歯科診療実習」といったアドバンスド科目は医療系総合大学の特徴を生かした特色となっている。また、成績不振者や留年生等に対する学修支援では、個別面談の実施、個別学習指導の実施、FDワークショップ等、学生の年次に応じたきめ細かな対応が行われていることは評価できる。さらに、臨床実習については、電子ポートフォリオによる学生自身による振り返りや学修状況の把握・評価を導入して学習効果の向上を図るとともに、過去の歯科医師国家試験をベースとしたリンクノートを作成し、1日1枚のペースで提出し教員による添削を通じて知識の確認を行うなどの手厚い教育体制を保持していることは、高く評価できる。

一方で、以下の点については、課題が見受けられる。

まず、学生の成績評価については、成績評価の厳格性・公平性を担保するため、成績評価に関する疑義照会に適切に対応するための制度を早急に確立することが望まれる。ま

北海道医療大学歯学部歯学科

た、学生の受け入れについては、入学定員に対する入学者数比率及び収容定員に対する在籍学生数比率が低くなっている。その背景として、入試競争倍率が2022年度において全国の私立歯科大学の平均を下回っているという課題がある。この状況を改善するためのプランを複数準備していることから、これらのプランを軸とした速やかで継続的な対応を期待したい。さらに、教員組織における、専任教員に占める女性教員の割合や外国人教員の割合については、大学の目標値を下回っているため、引き続き目標の達成に努力することが望まれる。

これらの点を改善するためにも、今回の歯学教育評価の結果を活用し、改善に向けて今後も継続して自己点検・評価活動に取り組み、歯学教育（学士課程）の質のより一層の保証・向上を図ること、さらには、当該課程の特色をさらに伸張していくことを期待したい。